

第4回 羽島市新庁舎建設委員会 議事要旨

日 時	平成30年5月25日(金) 午後2時30分から3時40分
場 所	羽島市役所 本庁舎4階 第一会議室
出席者	<p>〔検討委員〕 大野委員長、犬飼副委員長、高木委員、味岡委員、今井田委員、浅野委員、柳町委員、川合委員、安藤委員、岩田委員</p> <p>〔市関係者〕 事務局：橋本総務部長、入山新庁舎建設推進課長、黒田同課専門官、山田同課係長 株式会社佐藤総合計画中部事務所：5名 株式会社イトーキ中部支社：2名</p> <p>〔傍聴者〕 傍聴者6名(報道機関を含む)</p>
会議録	<p><u>1 開会・あいさつ</u></p> <p>委員12名のうち、10名が出席。</p> <p>橋本総務部長から開会の挨拶。</p> <p>味岡委員の紹介。</p> <p>本日の議事進行は委員長にお願いをする。</p> <p><u>2 議題(1)基本構想・基本計画(案)(第2稿)について</u></p> <p>事務局： 基本構想・基本計画(案)(第2稿)について、資料を使用して、説明を行う。</p> <p>委員長： 事務局の議題説明に対して、意見があれば発言を求める。</p> <p>事務局： 前回質問事項の補足説明ですが、免震構造の免震層へ浸水した場合の対応ですが、委員の皆様には文書で説明しましたが、改めて読み上げます。 免震装置の設置は地下層を予定しています。また、免震装置は、浸水させないというのが大前提です。しかし、木曾川、長良川の氾濫での浸水など、羽島市のハザードマップの条件下を考慮したうえで、地下層以外も検討していきます。 もし、免震装置が浸水した場合、水没だけなら、免震装置の交換は、必要ありません。ただし、水没したために、免震装置の鉄部分にさびがついた場合や、浸水し浮力が発生して免震装置がずれた場合、応急点検の結果次第では、免震装置の交換や建物位置の復元などの対策が必要になるということです。</p>

委員長：

事務局の説明に対して、意見があれば発言を求める。

事務局：

(株)佐藤総合計画より、構造計画について資料を使用して説明を行う。

委員長：

事務局の説明に対して、意見があれば発言を求める。

委員：

建物の形が、長方形か台形かというところで、近隣への風の影響は、資料を見ると長方形でも台形でもあまり変わらないと判断でき、敷地内で吹くビル風が強いかどうか、また、日陰になる面積が多いか少ないかという点、台形にした場合、建物内のレイアウト、利用の仕方を考えないと形が決まらないのではないか、という意見を申し上げます。

事務局：

(株)佐藤総合計画は、プロポーザルで提案した台形をモチーフに検討した場合での説明をしました。委員がおっしゃられたように、建物の形状は、入る中身を踏まえて、考えなくてはいけないと思っています。

台形も長方形も一つの選択肢だと考えています。

ですので、オフィスレイアウトの調査回答の内容や、市民意見交換会、市内の公共的団体への意見聴取などを総合的に判断した形が、最終的に台形であれば、台形を進めていきますし、台形の形のなかで配置するのが難しく、形を変えたほうが合理的であれば、その形を最終的に委員の皆様を示したい、と考えています。

委員：

周辺環境への影響図のなかで、建物の日陰図で、3時間と5時間の影の形が違うのは、なぜですか。また、構造種別比較の中に木造建築が入っていませんが、木造建築は選択肢の中に入らなかったのですか。

(株)佐藤総合計画：

日陰の形状についてですが、この示されているものは、等時間日影図といいまして、実際の影ができていく所が等時間、こちらに書いてある3時間、5時間の間でできる影のエリアで、2つの建物が合わさってできる複合日影なので、形状が変わってきます。機械のソフトで描いた図になります。

木造建築の件ですが、1万平米で指定された工期の中で、木造はコスト的には厳しいかなと思います。また、木造というのは、建物の比重が軽いですので、免震構造を考えると木造建築は難しい、ということで比較検証から外しました。

事務局：

広大な敷地を持っている自治体で、例えば町役場、村役場で大体5千平米で2階建ての木造の庁舎を建てている自治体もあります。ただし、かなりの敷地面積を確保しないといけないということ、工期が決まっている中で木材の確保は難しいということで、当初か

ら木造という選択肢はありませんでした。ただし、内装の木質化は、県との調整の中で、一部分、県産材の活用を検討しています。

委員：

周辺環境への風の影響図、風の風速はどれぐらいのレベルなのか。

榑佐藤総合計画：

強い赤の部分は風速 6～7m、緑の部分で 3～4m ぐらいです。もっと風速が強いと差が分かりにくくなるので、これぐらいの風速で示しています。地上から 2 m ぐらいの高さの設定なので、上空になるとまた変わってきます。

委員：

建物の形状の比較をするのであれば、もう少し具体的に比較してもらえると分かりやすいと思います。例えば耐震構造上、形が変われば優位なのか、外観上の見栄えとか、中の配置とか、そういった項目を整理して比較してもらえると分かりやすいと思います。

委員：

台形のメリットは、市民が利用しやすい 1 階、2 階の窓口で有利という考えで進んでいるのですか。この台形の形で、西日や朝日の光の問題など、総合的に考えているのですか。今、台形とか丸い建物とか、いろいろな形がありますが、使いやすさや中の間仕切りなどについてどのように考えていますか。

榑佐藤総合計画：

台形の形は、いろいろな項目で検討していきまして、建物は、デザインだけでなく、環境面や設備を含めた、窓口のありかた、職員の動線、西日などを考えてシミュレーションをしています。光の問題や外気との関係、吹き抜けの効果など、いろいろシミュレーションして、最適な提案をさせていただきます。構造に関しては、柱の本数、空間の取り方など台形がいいのか検討していきます。私達も、何が何でも台形というわけではありません。敷地形状を加味して、今回の台形の提案をさせていただきました。

委員長：

建物の形態については、構造上の力学的な問題、利用者の動線、執務上の動線、建物の周辺との関係を十分シミュレーションしていただいて、詳細を皆さんにご提示してもらい、ご意見をいただきたいということで、その時またよろしくお願いします。

委員：

風の影響比較図の A は、敷地内の風は、植栽等により緩和可能とありますが、C でも植栽すれば緩和可能になるのではないですか。

榑佐藤総合計画：

新庁舎と現庁舎の間はすでに既存の庭がありますので植栽を強化することが可能ですが、既存の情報防災庁舎と新庁舎の間は動線の関係上、植栽することが難しいです。

(2) その他

事務局：

市民意見交換会について、説明を行う。

委員長：

事務局の議題説明に対して、意見があれば発言を求める。

委員：

市民に、今回特別な財政支援があるので、スピード感をもって進めている、ということ  
を説明していただく必要があると思います。また、大事な新庁舎を建てるので、不二羽島  
文化センターのような立派な何年も通用するような市民に喜ばれるような建物にしてい  
ただきたいと思います。

事務局：

パブリックコメントの経過について、説明を行う。

事務局：

次の開催は、6月22日金曜日午後より予定しています。

委員長：

それでは、これもちまして本日の委員会は滞りなく終了したことと思います。

3 閉会

以上